

第64回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】 須和間（中丸地区）に着工予定のメガソーラー（太陽光発電）について

3年前に業者から自宅周辺の土地を買収し、メガソーラーを設置する予定だと聞いた。その後、音沙汰がなく計画が廃止になったのかと思っていたところ、先日、その件について業者から説明会を行うと回覧がまわった。説明会に参加し、心配事などを自治会長等とも協力しながら、企業へ話をしたがほとんど聞く耳を持っていなかった。

メガソーラーを設置するに当たり、森林を伐採することで生じる影響（害虫など）や村の景観が損なわれること、パネルの照り返しによる生活環境への影響、さらには今後 20～25 年は運転するといっていたが、その先のことも心配であり、このことは村の大きな損失になるのではないかと大変危惧している。

企業から、この件については住民と企業とのやり取りであるため、村は関与できないといわれたが、村として、住民から不安や心配の声が上がっていることを伝えてもらえないか。

⇒【村長コメント】

この件については、議会からも規制できないかと意見がでていいる。メガソーラーについては、国や県が推奨し、ガイドラインを定めている。そのため、ガイドラインに違反していなければ、事業自体を規制することは難しい。着工を予定している土地の周辺に、民家が隣接しているほか、通学路のすぐそばであるため、事業者が民家から 10メートル以内にはパネルを設置しない、最低限の景観は維持したまま事業を進めるなど、住民の意見を聞きながら事業を進めるよう働きかけを行うことはできると思う。

【2】 村の歴史や昔遊びについて

- ① 数年前に村でキツネが目撃されている。キツネはイノシシやハクビシンのように、農家に害を与えることはなく、モグラやヘビを食べてくれる。そういったキツネのありがたみについて、歴史を調べる方に勉強してもらいたい（平成28年度 東海村の文化財と自然に寄稿）。
- ② ボランティアとして、子供たちに昔遊びを教えている。手作りした玩具もそろえてあるので、子供たちに伝える機会があれば、声を掛けてほしい（東海村ボランティア市民活動センターへ登録済み）。
- ③ 戦中・戦後の村内での思い出についてまとめた。何か機会があれば活用してほしい。また、歴史と未来の交流館において、生活水の歴史が分かるよう、ミニチュアでもいいのでろ過装置を再現して設置してほしい。

⇒【村長コメント】

村の歴史を考える上で、使えるものかどうかまずは整理する。

⇒【生涯学習課コメント】

村の歴史を考える上で、戦中戦後の記録などは大変貴重な記録と考えられます。また、昔遊びのボランティアなど、大変有難く思います。機会がありましたら、ご協力をお願いしたいと存じます。

※特筆事項がなかった方につきましては，掲載を割愛させていただきます。